



子供たちに伝えたい美しい日本語

石井式育み文庫

絵／山口まさよし

とんち合戦





狸

むかしむかし、彦一といふとんち者がおりました。
ある日、山にすむいたずら狸が
彦一を負かしてやろうと企みました。
「彦一ちゃ、あんたは世の中で何がいちばん恐ろしか？」
「それなあ、お前には教えられん。」
「どげんしてえ、教えてよう。」
「俺の恐ろしかもんは、まんじゅうじゃ。あれを見たら体が震えるけん。」
と、真面目な顔で答えました。

企み

真面目



それを聞いた狸は、まんじゅうをたくさん持ってきました。
そして、彦一の家に行き、

「これでもくらえ！」

と、まんじゅうを家の中へ投げ込みました。

「わあ、まんじゅうだ、恐ろしか。」

と、言いながらも、彦一は喜んで食べ始めました。

それを見た狸は、叫びました。

「だまされたあ。覚えとれ。」